

1/16 Hirado City Photo News
これまでの取り組みが評価



根獅子集落機能再編協議会(濱崎保久会長)が「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」に選定されました。
この賞は「強い農林水産業」「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、地域の活性化、所得向上に取り組んでいる団体を表彰するもので、九州農政局管内から応募のあった104団体のうち、優良事例として10団体が選定。同協議会は、根獅子地区に都市住民などを招いての農業体験や自然体験ツアー、郷土料理を持ち合う「ねしこ食まつり」の開催など、さまざまな取り組みが評価されました。

1/9 Hirado City Photo News
今年もさらなる飛躍を

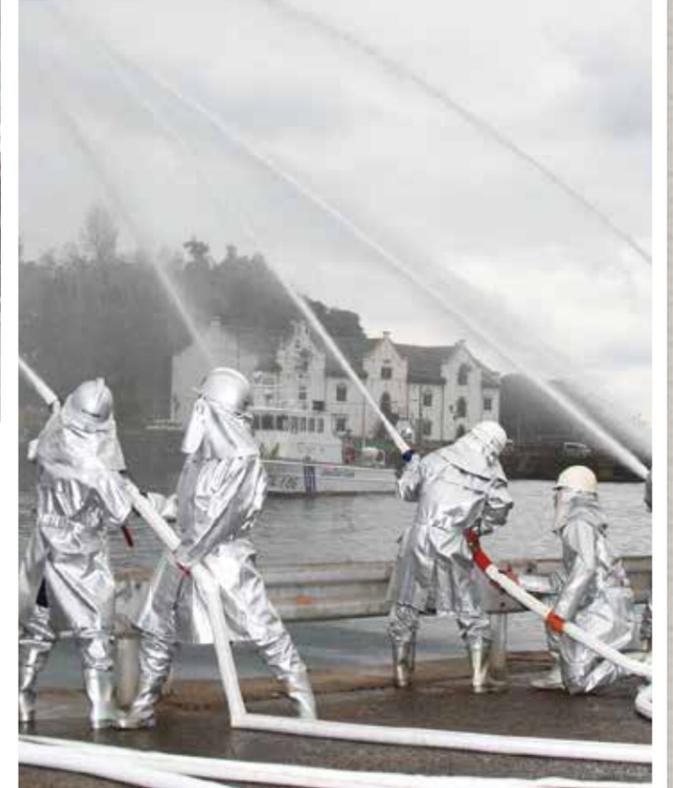


平戸文化センターで「平成30年新年祝賀交歓会」【平戸市・平戸商工会議所(早田悠次会長)共催】が開催され、市民、観光商工、農林水産、建設関連の事業者など約350人が参加しました。
まず黒田市長が、世界文化遺産登録を目指す「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成遺産「平戸の聖地と集落」について「受け入れ態勢を整え、交流人口の拡大に努める」とあいさつ。その後、鏡開きでにぎやかに幕開けし、参加者は本市のさらなる飛躍を誓いました。

1/5 Hirado City Photo News
地域における防災の要として、決意を新たに



平戸文化センターで「平成30年平戸市消防出初式」が行われました。
当日は、あいにくの空模様でしたが市内30分団の消防団員や婦人防火クラブ員、消防署員などが参加し、分列行進を行った後に大ホールに移動して式典が行われました。式では、来賓祝辞や永年勤続表彰、退職消防団員、防火水槽用地提供者に感謝状が贈られ、式典終了後には、平戸文化センター駐車場と荷場で服装点検と平戸港に向けて今年一年の防火意識を新たにすため一斉放水が行われました。



1/17 Hirado City Photo News
観て味て魅せられる平戸に



平戸市未来創造館で、株式会社「東京一番フーズ」のインターンシップ学生4人が平戸市を訪れ、市内各所を調査の上で「平戸に人が殺到する企画」について、市長にプレゼンを行いました。
「観て、味て、魅せられる平戸マラソン」と題し、走る楽しみだけではなく、自然や歴史を観たり、おいしい平戸の特産品を味わいながらフルマラソンを走破するという、差別化された大会とその運営方法についても具体性のある提案内容に、市長も感心していました。

1/16 Hirado City Photo News
防災知識を学び自ら行動する



度島小中学校では、今年度文部科学省の委託事業として、学校を中心に保護者・地域が連携した防災教育の研究と実践に取り組んでいます。この日は、これまでの研究の成果を、保護者や地域の人たちおよび市内小中学校の先生たちに見てもらい、今後の防災教育に生かそうと発表会が行われました。
発表会では、児童・生徒たちが実際に宮城県石巻市を訪問し、現地の学校やボランティアの人たちから学んだ、東日本大震災が起こった時の体験談を劇にした発表などが行われました。

1/7 Hirado City Photo News
長崎の期待の新人による演奏会



ふれあいセンターで、第45回長崎県新人演奏会の出演者5人によるニューイヤーコンサートが行われました。このコンサートでは、声楽部門に平戸市出身の吉住基暉さん(写真中央)や、吉住さんの高校時代の恩師、加々良弦さん(写真右)も参加しており、師弟による共演もありました。
コンサートの最後は、会場全体で「ふるさと」を熱唱。途中、吉住さんと加々良さんがステージから降りると、たくさんの人から握手を求められ、会場は、2人の優しい歌声とぬくもりに包み込まれました。

12/19 Hirado City Photo News
お寺に響くサイレントソング



平戸の観光スポット「寺院と教会の見える風景」の瑞雲寺で「J・パークス」クリスマスコンサートが開催されました。
「J・パークス」は、福岡県大川市を拠点に活動する2人組デュオで、1960年代の音楽ユニット「サイモン&ガーファンクル」のコピーバンドとして活動しています。この日は「明日に架ける橋」「サウンド・オブ・サイレンス」などを披露。2人の歌声とギターの色に、訪れたシニア世代は、青春時代の甘く切ないメロディーに酔いしれていました。